

## 予防・健康づくりサービスの価値評価の在り方について 市民の皆さんのお声をうかがわせてください

東京大学大学院医学系研究科 保健社会行動学分野 教授の橋本英樹を研究代表者とする研究事業

「SDGsを意識した予防・健康づくりの多面的経済評価の手法開発」  
(国立研究開発法人日本医療研究開発機構により資金支援、  
医療経済学会理事会の後援・理事クラスの会員の参加により実施中)

では、研究結果について一般の市民の皆様からのご意見をうかがうため、市民パネル（意見交換会）にご参加いただけるかたを募集しています。

本研究事業では、予防・健康づくりのサービス商品について、さまざまな観点からの価値づけ評価を行い、予防や健康づくりに関するサービス商品について今後どのような情報を用意したら、消費者の賢い選択を支援できるか研究を行っています。

市民パネルでは、健康上の効果や費用だけでなく、健康格差に対する配慮（衡平性）や社会的波及効果（サービスを通じて得られた個人の健康がまわりの家族や周囲の人に及ぼす影響など）などさまざまな価値観に基づく評価の在り方についてお示ししたうえで、参加者のかたの率直な感想をいただくことを目的としています。

参加いただける方の条件：

一般市民の方（年齢18歳以上）（日本語での会話に不自由のないかた）。

（なお医療・医薬関係にお勤めの方や関係される方のご参加はご遠慮ください）

15名ほど募集しています。

参加の具体的手順

- ・ ご関心のある場合、末尾の連絡先にご連絡いただければ、より詳しい説明文書を送付（郵送ないしメール添付）させていただきます。ご一読のうえ、参加について前向きにご検討いただける場合、日程調整をさせていただきます。（8月ー9月中旬の間で実施予定）

- ・ 4-6 人の方と一緒に以下のいずれかの形でご参加いただきます。
  - 1) 直接対談；東京大学本郷キャンパス内の一室で 2 時間ほど意見交換をしていただきます。
  - 2) オンライン対談；遠方のかたについては、zoom によるオンラインでの対談を 2 時間ほど設定し、意見交換していただきます。

参加前に再度研究参加についてご説明のうえ承諾いただいた場合のみご参加いただくようにします（この時点での撤回も可能です）。

- ・ 個人個人の発言内容については公開されません。また参加者の皆さんにもお互いに何を話したかなどについては口外しないよう、守秘義務について署名をいただいて気兼ねなく意見を言っていただけるよう配慮します。
- ・ 対談の内容は録音させていただき、いただいたご意見をまとめるための資料にさせていただきます（個人名は伏せたものを作成します）
- ・ 終了後交通費実費と謝礼（Quo カード 2000 円分）を差上げます。領収書にサインをいただきます。
- ・ いただいた意見をまとめた結果は、医療経済学会の学会誌「医療経済研究」に特別寄稿（報告書）やホームページなどとして掲載されます。ご希望のある方には報告書の内容を後日送付させていただきます。
- ・ 本研究事業ならびに市民パネル実施は東京大学医学部倫理委員会の倫理審査を受け承認を受けています（審査承認番号 2024143NI）。

連絡先； できれば e-mail でお願いします。

E-mail [hsb.u.tokyo@gmail.com](mailto:hsb.u.tokyo@gmail.com) (研究責任者 橋本英樹)

もしくは

FAX 03-5841-3512

（お電話の場合は折り返し電話いたしますので、上記番号に留守電に連絡先をお願いします）